

平成24年度
実施事業

事務事業名 交通安全推進事業

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	3	交通安全の推進
小分類	1	交通安全意識の高揚
主要な施策	1	①交通安全に関する意識啓発の強化
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 ー 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	市民サービスグループ
-----	-------	-------	------------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	交通安全運動等を実施して市民の交通安全意識を高め、悲惨な交通事故を減少させることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	交通安全意識の高揚を図るため、交通安全教育や全市的な交通安全運動を推進した。 <ul style="list-style-type: none"> ・新入学児童に対する交通安全啓発運動 ・高齢者交通安全啓発運動 ・パトライト夜間街頭啓発運動 ・交通安全標語の募集、表彰 ・歳末交通安全啓発運動 ・シートベルト着用調査 ・ジャンボ検問街頭啓発運動 ・人と旗の波街頭啓発運動 ・二輪車交通安全啓発運動 ・こぐまクラブ交通安全啓発運動 ・交通安全歳末特別警戒運動 など
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	交通事故件数が減少しているものの交通死亡事故が発生しており、交通死亡事故ゼロを目標に、交通安全推進運動を継続する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	・交通安全対策基本法 ・北海道交通安全基本条例 ・登別市交通安全条例

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分	単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金 名称	千円					
道支出金 名称	千円					
地方債 名称	千円					
その他 名称	千円	758	715	764	764	764
一般財源 名称	千円	825	594	883	883	883
事業費 合計		1,583	1,309	1,647	1,647	1,647

指標の推移

《Check》

区分	単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	件	① 市内の交通死亡事故件数	目標値	0	0	0	0
		実績値	1	3			
	件	② 市内の交通事故件数	目標値	0	0	0	0
		実績値	143	115			

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<p>交通安全啓発を実施し、前年より交通事故件数は減少しているものの、交通死亡事故が発生している。</p> <p>●平成23年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故件数 143件 ・交通事故傷者数 158件 ・交通死亡事故件数 1件 <p>※ 上記件数は、1月から12月までの件数。</p>	<p>各種交通安全啓発運動を継続して実施し、交通ルールの遵守や交通マナーの向上等を図る。</p> <p>●平成24年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故件数 115件 ・交通事故傷者数 138件 ・交通死亡事故件数 3件 <p>※ 上記件数は、1月から12月までの件数。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）		《Check》
1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>交通安全対策基本法により、市は、交通安全計画の策定その他施策の基本を定めることにより、交通安全対策の総合的かつ計画的な推進を図ることとされている。</p>
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>市民の交通安全への関心や無事故への意識の高まりは増している。</p>
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>各種団体等の協力を得て、啓発運動を実施している。</p>
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>交通事故件数が減少しているとともに、交通事故傷者数も減少している。</p>

①担当グループによる評価		《Check》
維持	<p>左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)</p> <p>交通事故防止は、交通環境の整備や警察の取り締まりによるものだけではなく、市民一人ひとりが交通ルールを遵守し、交通マナーを向上させることが重要である。これまでの交通安全啓発や各種街頭啓発が浸透をみせ、市内の交通事故件数及び傷者数は前年より減少しているため、今後も継続的な啓発活動が必要である。</p>	

②行政評価会議による評価		《Check》
維持	備考	